

✂️ 黒い線で切り取ってノリで貼り合わせ、ジュニアガイドを組み立ててみよう。

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり



特徴
頭の上が平ら。
ふくよか。

2年もの間、世の人々が飢え渴いてほんとうにひどかった。春夏の日照りは強く、秋は大風や洪水が起き、良くないことが続いて、大事な穀物がまったく実らなかった。

「いまのわたしたちにも共感したり理解できることがあるかな」

『源平合戦』(1212)



800年前の日本は…

大地震、大火事、大風、洪水、飢饉、疫病などで、多くの人が家を失い、亡くなりました。

源平合戦で奈良の東大寺や興福寺が全焼するなど、政治、宗教、人々の暮らしがとてつもなく混乱しました。

日本の宗教だった仏教にとっては、お釈迦さまの教えがすたれて誰も救われない時代(末法)だと考えられていました。

すなおで落ち着いた世の中になってほしいけれど、今はそれを望めないのだろうか。空を見上げては涙がこぼれ、地面に伏しては声をあげて泣いている。

☆ かわしすぎる

【ほかの名前】勢至丸、源空など

【出身地】美作国(いまの岡山県)

【誕生日】1133年4月7日

【お父さんの職業】武士

【家族】生涯独身

【亡くなった日と場所】1212年1月25日、京都東山で。80歳でした。

【法然が開いた宗派の名前】浄土宗

【勉強】16歳から3年かけて、お経60巻を読破しました。

【尊敬する人】善導(中国の唐時代のお坊さん)

【感動した本(お経以外)】善導の『観無量寿経疏』。

【最高の夢】善導が会いにきて、「念仏を広めるのは貴いことだ」と声をかけてくださった夢。

【悲しかったこと】9歳のときにお父さんが亡くなったこと。

【勝手な布教をする弟子がいたこと。】

ぼくとおんなご、ほった。

ふくくら、ほうねんさん



みなさんは法然と親鸞という人の名前を聞いたことがありますか？

ふたりは今からおよそ800年前の日本で活躍したお坊さんです。

若い頃から勉強がよくできた仏教界のエリートでしたが、安定した地位を捨てて、すべての苦しむ人が平等に救われる道を求めました。

この展覧会では、ふたりにゆかりの仏像や絵画、古文書をとおして、その人生や考え方を、ともに生きた家族や周りの人たちについてご紹介します。

ほくもどこかにいますんで



博物館でのルール

- ◎ゆっくり歩いて静かに見よう
- ◎作品にインクがつかないようにメモはえんぴつで
- ◎作品にはさわらず目で楽しもう

会期中、展示替がありますのでご注意ください。

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

①のり

去

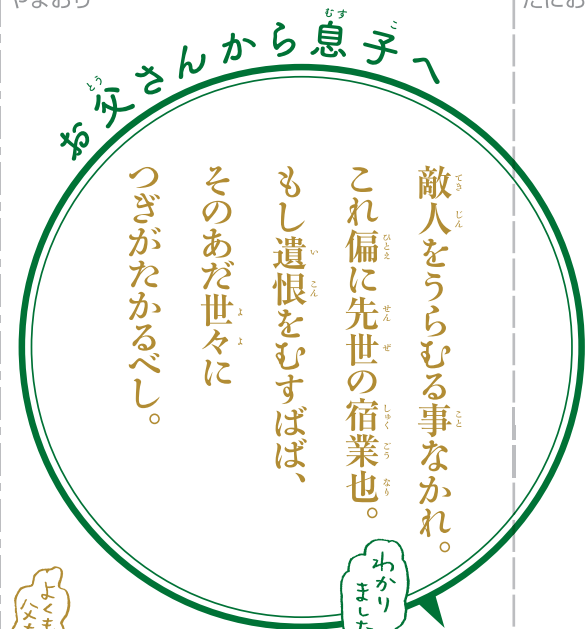
犬

見

録

やまおり

たにおり



敵を恨むようなことはしてはいけない。これは前世からくる宿命なのだから。もし相手を恨めば、その仇はいつまでも繰り返して終わることがない。法然のお父さんは仲の悪かった武士に夜中に襲われ、その傷がもとで亡くなりました。これはお父さんが亡くなるまぎわに、9歳の法然に語ったと伝えられることです。

やまおり

たにおり

つなぐことば

法然や親鸞鳥のことはや物語は、
800年もリレーされて、いるんだね。

法然と親鸞は、
家族や師弟と話したことや、
会ったこともない昔の人の本、中国の本から
仏さまの教えを学びました。
そして考えたことを周りの人たちにも伝えました。
わたしたちもいくつか読んでみましょう。



やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

親鸞鳥

しんらん



特徴
眉毛が濃くて
つりあがっている。

- 【ほかの名前】 綽空、善信など
- 【出身地】 京都
- 【誕生日】 1173年(月日は不明)
- 【お父さんの職業】 朝廷の役人
- 【家族】 妻(恵信尼、10歳年下)、子ども(善鸞、覚信尼など)
- 【亡くなった日と場所】 1262年11月28日、京都で。90歳でした。(新暦では1263年1月16日)
- 【親鸞が開いた宗派の名前】 浄土真宗
- 【勉強】 70歳を過ぎてからも、ますますたくさん本を書きました。
- 【尊敬する人】 法然など七高僧、聖徳太子
- 【感動した本(お経以外)】 法然の『選択本願念仏集』、曇鸞の『往生論註』。
- 【最高の夢】 29歳のとき、京都の六角堂でみた聖徳太子の夢。
- 【悲しかったこと】 法然の教えを間違って理解する人が多くいたこと。
- 【救いの道を得るきっかけを得ました。】 問題を起こした息子の善鸞と縁を切ったこと。



やまおり

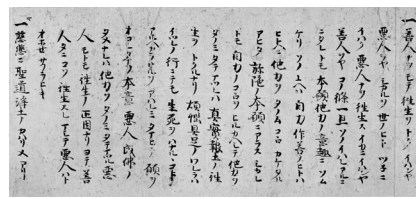
たにおり

A面 - 3

✂️ 黒い線で切り取ってノリで貼り合わせ、ジュニアガイドを組み立ててみよう。



やまおり



重要文化財 数奥抄 京都・西本願寺蔵 [部分]
[展示期間 11/1~6]

師から弟子へ

善人なをもて
往生をとぐ、
いはんや悪人をや。



善人(自分の力で迷いをた
ちきれると信じている人)で
さえ極楽に往生できるのな
ら、阿弥陀仏が救いたいと
誓っている悪人(自分の力で
は迷いをたちきれない人)が
往生できないはずはない。
親鸞が「つねづね伝えていた
ことばを、弟子の唯円が記
録した一文です。」

やまおり

たにおり

自分がなんでも知っているよう
なふりをしている気になること
なく、ただひたすらにほとけの
名を念じる(念仏する)べきで
ある。法然が亡くなる直前に、
弟子の源智に残したことで
す。たとえたくさん勉強した
としても、おごりたかぶること
なく、謙虚に一生懸命、念仏す
るよう遺言(いごん)しています。



一枚起請文 京都・光明寺蔵
[展示期間 10/25~11/13]



師から弟子へ

智者のふるまいを
せずして、
ただ一向に
念仏すべし。

たにおり

✂️ 黒い線で切り取ってノリで貼り合わせ、ジュニアガイドを組み立ててみよう。



仏教のことばは、
今のわたしたちの暮らしにも
生きています。
ここではみなさんが
展示会場で見かけることになる、
ちょっと難しいキーワードを
予習してみましょう。



聞いたことあるかも!! なむことば

【浄土】 【極楽】 【地獄】

浄土というのは、仏さまがいる清らかな世界のこと。
阿弥陀仏がいる極楽浄土は西の方角にあるという。
地獄というのは、悪い行いをするとおちる
苦しみにくい世界のこと。
炎に焼かれ、鬼に舌を抜かれ、針の山に登り、
いびきで目を醒ますという...
親鸞は、法然にだまされて地獄におちても後悔しないと云った。



なむことば

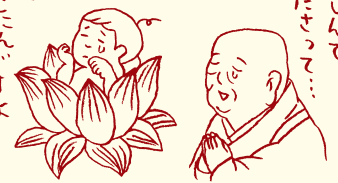
【阿弥陀仏】 【浄土三部経】

ここにたんにくさんの方が
悲しんで
くださって...

法然が七くなった1年後に、
弟子の源智が法然のために
造った阿弥陀仏の像です。

お像の中には、
46000人以上の
名前が入っていました。

それ
だけの
なまことば
が
なまことば
です



重要文化財 阿弥陀如来立像
浄土宗蔵
[展示期間 10/25~12/4]

阿弥陀仏は、
すべての人を平等に苦しみから救い、
極楽浄土へ迎えるという誓いをたてた仏。
別名、無量寿(命に限りがない)、
無量光(光に限りがない)ともいう。
観音、勢至というお伴の菩薩がいる。

① 無量寿経
阿弥陀仏がその昔、
法蔵菩薩だった時にたてた、
48個の誓いなどのお話

② 観無量寿経
阿弥陀仏や浄土を
イメージするお話

③ 阿弥陀経
阿弥陀仏と極楽のお話

たにおり

やまおり

たにおり

やまおり

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

【教行信証】

(展示期間 10/25~12/4)

正式名称「顕浄土真実教行証文類」。
親鸞が常陸国(いまの茨城県)にいた
52歳の頃から亡くなるまで書き続けた、
阿弥陀仏の救いについての本。浄土真宗の一番大事な聖典。



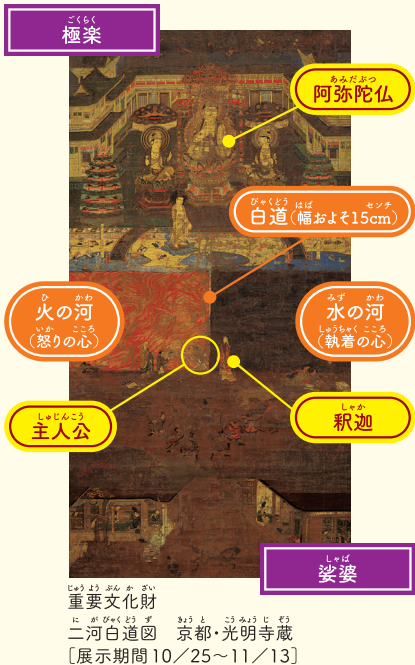
【選択本願念仏集】

(展示期間 10/25~12/4)

法然が66歳のとき九条兼実に頼まれて書いた、阿弥陀仏と念仏についての本。
はじめは限られた人しか読めなかった。浄土宗の一番大事な聖典。

【二河白道】

娑婆(今の世の中)にある
たくさんさんの悩みや誘惑を
ふりきって、ただひたすらに
阿弥陀仏を信じて
極楽浄土へ進むことを勧めるお話。



重要文化財
二河白道図 京都・光明寺蔵
[展示期間 10/25~11/13]

な

ニックネームは「早来迎」。
阿弥陀仏と25人の菩薩が亡くなる人を
お迎えにくるところを描く。



国宝 阿弥陀二十五菩薩来迎図 京都・知恩院蔵
[展示期間 10/25~11/13]

む

こ

と

ば

【念仏】

念仏とは阿弥陀仏の名前を
「南無阿弥陀仏」と称えること。
亡くなる人を仏さまが迎えに来ることを来迎といひ、
お迎えには9つの形があると
観無量寿経に説かれている。



やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

✂️ 黒い線で切り取ってノリで貼り合わせ、ジュニアガイドを組み立ててみよう。

特別展
法然上人八百回忌 親鸞聖人七百五十回忌

法然と親鸞

ゆかりの名宝



ジュニアガイド

このジュニアガイドは、特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」の鑑賞の手引きとして、小学校高学年から高校生までを対象に作成しました。

2011年10月25日[火]～12月4日[日]
東京国立博物館 平成館

重要文化財 善信聖人絵(琳阿本) [部分] 京都・西本願寺蔵

やまおり

特別展
法然と親鸞 ゆかりの名宝

2011年10月25日[火]～12月4日[日]
東京国立博物館 平成館 [上野公園]
休館日:月曜日
開館時間:午前9時30分～午後5時(金曜日は午後8時まで開館)
※入館は閉館の30分前まで

【主催】東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
【後援】文化庁
【特別協力】知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清浄華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、善光寺大本願、光明寺(長岡京市)、禅林寺、誓願寺、遊行寺、西本願寺、京都 東本願寺、専修寺、佛光寺、興正寺、錦織寺、毫根寺、誠照寺、専照寺、證誠寺
【協賛】トヨタ自動車、日本写真印刷、三井住友海上火災保険

◎観覧料
一般: 1,500円(1,200円)
大学生: 1,200円(900円)
高校生: 900円(600円)
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳をご提示ください。



展覧会ホームページ
<http://www.honen-shinran.com/>

東京国立博物館 
<http://www.tnm.jp>

特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」ジュニアガイド
制作: 東京国立博物館、NHK
デザイン: 野村勝久(野村デザイン制作室)
イラスト: 川口澄子(水登舎)

やまおり

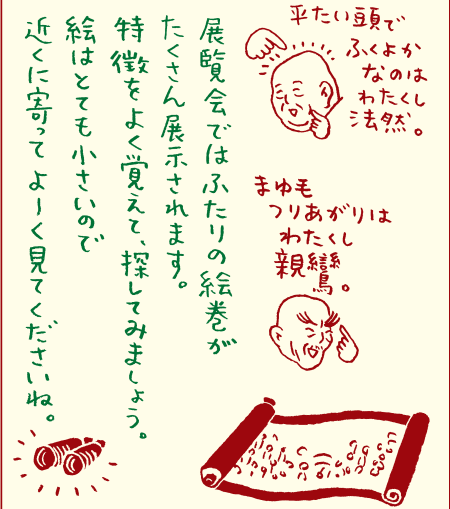
たにおり

伝絵・絵伝

お坊さんの人生を
絵巻や掛幅の絵にあらわしたものを。
教えや奇跡、うれしいことやつらいことなど、
人生に起きた出来事を伝える。

展覧会ではふたりの絵巻が
たくさん展示されます。
特徴をよく覚えて、探してみよう。
絵はとも小さいので
近くに寄ってよく見てくださいね。

平たい豆頭が
ふくよかなのは
わたしの法然。
まゆ毛
フリあがりのは
わたしの親鸞。



たにおり